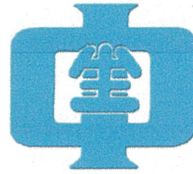


長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第 6号
(令和元年 5月)

文責 西澤 庄藏

避難訓練が行われました。「備えあれば憂いなし」です。

05/15 (水) 平戸市消防署生月出張所と連携して火災を想定した避難訓練を実施しました。

当日は素早く団体行動ができ目標とする時間より早く避難完了ができました。署員の方々から、まじめな態度で訓練そのものは良かったとほめ言葉をいただきました。

事後の講話から、東日本大震災のことも触れられるなど「自分の命は自分で守る」ことが説かれ、身の引き締まるひとときも味わうことができ、貴重な体験の場となりました。

署員の方々が帰り際に、先生たちが大声で火災(想定)場所を告げるなど小気味よかったとほめ言葉をいただく一方、実際の火災ではほとんどの人がパニックになり平常心で行動ができなくなるなどのことから、避難誘導場所での人数報告も先生たちが大声で報告するなど、意図して緊迫した場面を作り出すことも必要と、実際に役立つ訓練方法のアドバイスがありました。

今回の反省を生かし、訓練は今後も定期的に行っていく所存です。



←写真(右)は、消火器を用いての消火活動の体験の様子です。

各学級数名の体験でしたが、傍観した私でも、安全ピンを抜くタイミングなど、「プロ」の丁寧な教えに、大いに勉強になりました。

未来の教師を目指して教育実習が行われました。

05/13 (月) から5日間、教育実習生が実習を行いました。長嶺 仁美さん、石山 幸さんの2名が栄養教諭資格取得の一環として母校で実習を経験しました。栄養教諭となるための実習ですので、実際は、学校だけではなく、給食共同調理場との往復の日々でした。

実習生のひたむきな態度から、夢に向かって頑張っている姿が感じられ、ただただ「嬉しい」の一言に尽きます。授業が最初から上手な人はいません。自分らしさを発揮して少しでも納得する授業ができれば、それでいいのです。ただ、「自分はこれだけはやる」という信念や意地があってもいいと思います。しかし、その裏では、誰よりも苦勞や努力を惜しまないことも忘れないでほしいと切に願います。(このことは今の自分に向けて言い聞かせていることも含まれています。)

実習生を指導する先生たちは、長年の経験と日ごろの実践の積み重ねにより、生徒を成長させる「プロ」として日々生徒と過ごしています。そんな先生たちも、実習生に生徒との関わり方や授業の在り方を指導しながら、自分の日々の姿を振り返り、より良くしていこうとしています。教育実習に携わったことにより、常に成長しようとする先生たちの姿もたくさん見られました。



←写真は授業指導(T2)や食育指導の様子です。

単に講義をするのではなく、自作の絵入り掲示物を持参して臨むなど、分かりやすい指導となるよう誠心誠意努めていたことが印象に残りました。

【お知らせとお願い】

先日の青少年健全育成町民会議で、町内あげての一齐清掃が07/07(日)に行われることが決定しました。会議では中学生の参加要請もありました。当日は日曜日ですので、「お子様と一緒に」各地区の清掃活動に参加していただきますようお願いいたします。

私も、一住民として、屋敷地区の海岸一帯の清掃活動に汗する予定です。